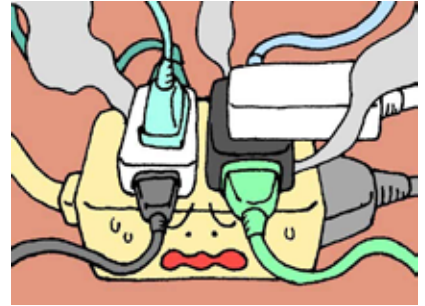




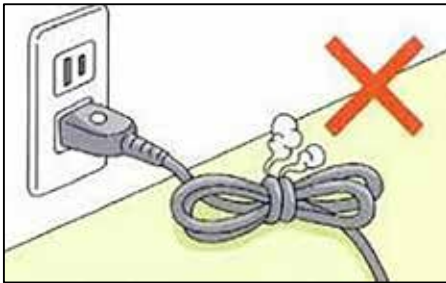
## 冬のコンセント火災に注意を!!

冬は、暖房器具の使用が増えるため、火災のリスクが高まります。特に、電気ストーブや電気カーペットなどの消費電力の大きい暖房器具は、コンセントや配線器具の火災につながる可能性があります。コンセントからの火災を防ぐために、以下の点に注意しましょう。

- ・電源コードやプラグは、傷や劣化がないか定期的に確認し、異常があれば新しいものに交換する。
- ・コンセントは、定格容量を超えないように使用する。
- ・電源コードの上に重いものをのせない。
- ・電源コードは束ねて使用しない。



火災は、ちょっとした不注意から起こることもあります。冬の暖房器具の使用には、十分な注意が必要です。



## 住宅用火災警報器の交換時期は？連動式がおすすめの理由

平成18年に住宅用火災警報器の設置が法律で義務化されてから16年が経過し、多くの住宅で設置されていることと思います。設置から10年経過すると交換が必要になりますが、買い替えを検討している方は連動式の住宅用火災警報器の導入をおすすめします。

連動式の住宅用火災警報器は、火災を感知すると設置しているすべての住宅用火災警報器が鳴動し、火災を知らせてくれます。例えば、深夜に1階で火災が起きた場合、2階では気づかない場合があります。火と煙は静かに拡大していきますが、連動式であれば、1階で火災を感知した住宅用火災警報器の鳴動によって、2階でも火災を感知し、避難や通報を迅速におこなうことができます。



## 緊急通報は固定電話もスマートホンも「119」



現在鶴居村内からの緊急通報（以下「119」）は、弟子屈消防署内にある通信指令室につながります。そのため、慌てず落ち着いて町村名からの詳しい住所や119の理由を伝えましょう。なぜ鶴居消防署ではなく、「通信指令室へ119」通報するかは理由があります。「位置情報表示システム」により通報者の位置が判明します。この位置が表示されることにより、は交通事故や屋外での救急要請などで場所が容易に判明するため、出動時間の短縮につながります。緊急通報は「119」へ通報をお願いします。

